

2027年12月から プラスチックの分別収集・再資源化を開始！

ごみ削減キャラクター
へらそくくん

プラスチック資源の分別に、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

詳しくは、[千葉市 プラスチック](#)
廃棄物対策課 ☎245-5236
㈹245-5624

なぜ再資源化が必要か？

プラスチックを燃やすと二酸化炭素が排出され、地球温暖化の原因になります。また、プラスチックごみが海に流れ込むと、生態系を含めた自然環境に悪影響を及ぼし、漁業や観光などの産業にも深刻な影響を与えます。

限りある資源を守り、次世代に引き継いでいくため、家庭で分別していただいたプラスチックごみを「資源」として収集し、再資源化することが大切です。

一人ひとりの小さな工夫と行動が、未来の地球を守る力になります。プラスチック資源の分別収集に、ご理解とご協力をお願いします。



プラスチック資源の分別区分を追加

現行の資源物

びん・缶・ペットボトル
古紙・布類
木の枝・刈り草・葉

プラスチック資源

収集運搬体制や指定袋製造の準備などのため、2027年12月から分別収集開始になります。

プラスチック資源の収集日や収集方法などの詳細は、決まり次第順次お知らせします。

どんなものがプラスチック資源になるのか？

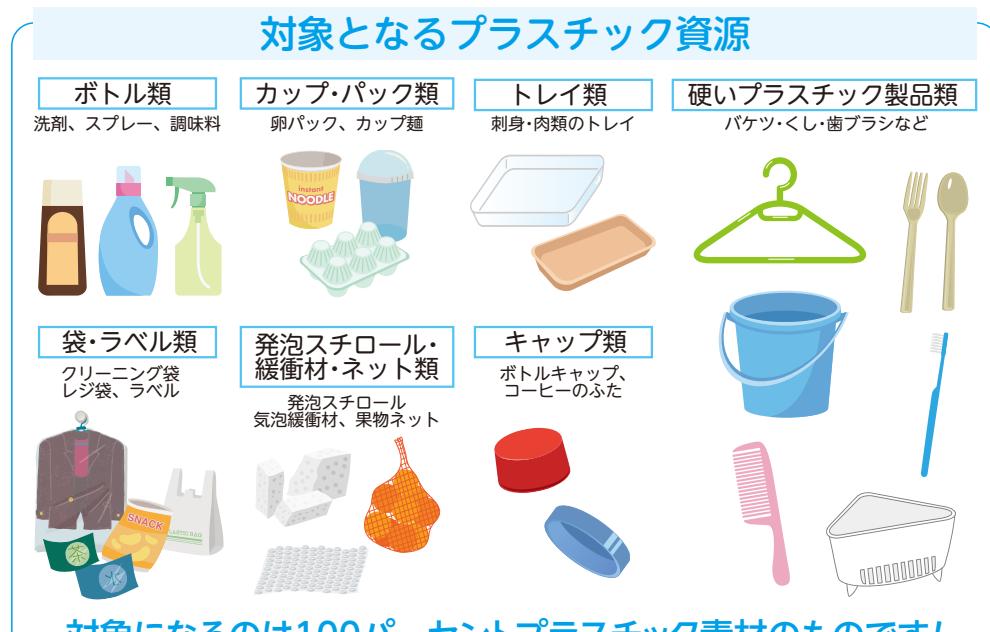
プラスチック資源になるのは、100パーセントプラスチック素材でできたものです。

現在は、柔らかいプラスチックは可燃ごみ、硬いプラスチックは不燃ごみに分けて排出していますが、2027年12月からは、プラスチック資源の指定袋に一緒に入れて排出をお願いします。なお、ペットボトルはこれまでどおり「びん・缶・ペットボトル」の日に分別排出してください。金属など異素材との複合製品の分別排出ルールに変更はありません。

排出方法や指定袋は？

プラスチック資源は、指定袋（15と30リットルの2種類、手数料は可燃・不燃ごみと同額）を使用し、地域で決められたごみステーションへ排出してください。

指定袋のデザインは、こども・若者会議で検討し、5月に市民投票を実施する予定です！



対象になるのは100パーセントプラスチック素材のものです！

集まったプラスチック資源はどうなるの？

市脱炭素キャラクター
エコ葉

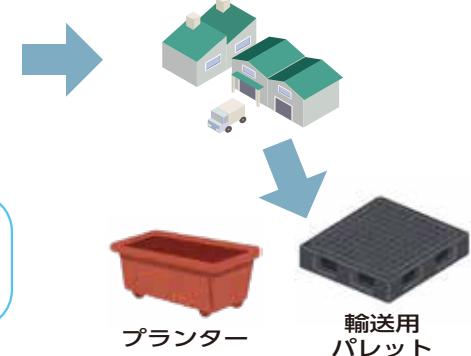
分別して集められたプラスチック資源は、再資源化施設へ運ばれ、数ミリの粒状の再生プラスチック材である「ペレット」に生まれ変わります。

ペレットは、新しいプラスチック製品へと加工され、私たちの暮らしのさまざまな場面で活用されています。使い終えたプラスチックが再び社会の中で役立つ資源となり、循環型社会の実現に貢献しています。

ごみステーションから 収集



再資源化施設



今からできることは？

プラスチック製品の拠点回収を利用しよう！

現在市内20カ所（区役所・コミュニティセンター・イオンモール幕張新都心など）に限定15品目の100パーセントプラスチック製品の回収ボックスを設置しています。

回収できる品目は【右記】のとおりです。

プラスチック製品をぜひお持ちください。

詳しくは、[千葉市 製品プラスチック](#)



*食品トレイは製品プラスチック拠点回収の対象外です。スーパーなどの店頭回収をご利用ください。